

福島県建築設計協同組合 木造施設視察研修会 報告書

日 程：令和5年9月8日～9月11日（3泊4日）

参 加 者：30名

視察目的：

本研修会は近年ますます注目が高まっている木造建築物に関する専門的知見を習得するために企画されたもので、毎年行っている組合の研修の一つとして実施したものです。

目 次

- 1 研修概要P2～5
- 2 研修報告
 - 荒井 亮 (株)はりゅうウッドスタジオP7～8
 - 林 奈々緒 (株)はりゅうウッドスタジオP9～10
 - 大槻 彩夏 AUM (株)P13～14
- 2 日程P15
- 3 参加者P16



研 修 概 要

9月8日（金）～9月11日（月）の3泊4日の日程で四国（徳島県、高知県、香川県）の木造施設を中心とした視察研修会を行い、組合員23社30名が参加しました。

この研修会は組合員のアンケート等を参考に教育情報等企画委員会が企画し理事会の承認を経て実施するもので、組合員の知見と技術の向上のために実施しています。

今回の企画は昨年から検討されていましたが、コロナ禍のため延期をした経緯があり、状況が落ちついたことから実施することになりました。

9月8日（金）は仙台空港に集合し、神戸空港に到着後、竹中大工道具館を見学し、メリケンパークを経てバスで宿泊地の徳島市へ向かいました。



夕食には、スタジオナスカの八木代表にも加わっていただき、見学予定のアンパンマンミュージアムについて講話を頂くことができました。

9月9日（土）は神山町に移動し、一般社団法人神山つなぐ公社の馬場代表理事による神山町の地域づくりの内容について説明を受けた後、人口減少に歯止めをかけようと、子育て世代の受け皿として整備した「大埜地の集合住宅」の設計者、池辺友香子氏より事業の解説があり団地を案内していただきました。



大埜地の集合住宅

昼食後「縁側テラス」など、各自で町内を散策し、午後からは「神山まると高専」で旧中学校の校舎をリノベーションした学生寮や木造の格子梁により大空間を実現した校舎を見学した後、上勝町に移動し、「上勝町ゼロ・ウェイストセンター」を見学しごみゼロを目指す町の取り組みと、廃材を有効活用するとともに、解体後に再利用しやすい様、シンプルな構造とした施設を見学しました。



神山まると高専寄宿舎での説明



神山まると高専校舎内部



神山まると高専の階段教室にて



上勝町ゼロ・ウェイストセンター

9月10日（日）は高知県に移動し「まきのさんの道の駅佐川」、「アンパンマンミュージアム」「牧野富太郎記念館」を見学し高知市に宿泊しました。



まきのさんの道の駅佐川内部



アンパンマンミュージアム別館（木造）

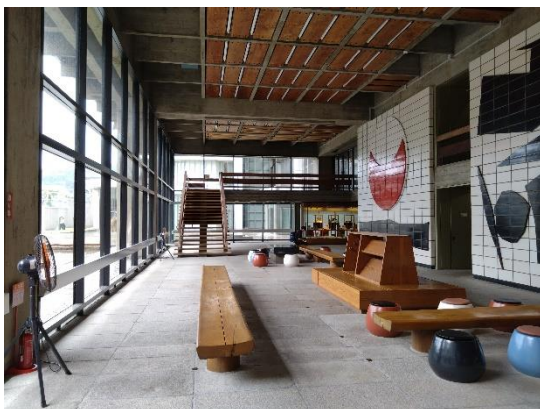


牧野富太郎記念館



高知 はりまや橋にて

9月11日（月）の最終日は高知を出発し、免震構造に改修された香川県庁舎東棟を見学し、高松丸亀商店街の再開発と古い建物とをうまく調整を取りながら整備したアーケードを見学しました。



香川県庁東棟 1階ホール



高松丸亀商店街

午後からは屋島山頂に整備された最後の見学施設として高松市屋島山頂交流拠点施設「やしまーる」を見学し無事すべての視察を終了。帰途につきました。



やしまーる



やしまーる内部

今回の研修では、非常に多くの施設視察と昨年の研修で講義していただいた山田憲明氏の手がけた建物も直接見ることができ、非常に有意義なものとなりました。

高知への移動途中に事故渋滞に巻き込まれて視察時間を気にしたり、アンパンマンミュージアムでは夕立にあったりとアクシデントもありましたが、予定どおり視察を終えることができました。参加者の協力に心より感謝いたします。

研 修 報 告

9月8日（1日目）@兵庫県神戸市

■竹中大工道具館

竹中大工道具館は山陽新幹線新神戸駅のすぐ近くにあり、門をくぐり石畳のアプローチを進むと、数寄屋風の建物と玄関が見えてくる。

一見平屋に見えるが、中に入ると展示スペースが地下に続いており、国内外の大工道具のほか様々な木材の展示や、吹抜けを使った7メートル超の唐招提寺金堂の組物模型は圧巻でや茶室の構造模型などの大型模型を展示しており、実際に木に触ったり匂いを嗅いだりできる展示も充実している。



この後、マリンプークの阪神淡路大震災の遺構を見た後、最初の宿泊地の徳島に向かった。

夕食には、スタジオナスカの八木代表にも加わっていただき、見学予定のアンパンマンミュージアムについて講話を頂くことができた。



(研修報告1)

(株) はりゅうウッドスタジオ 荒井 亮

9月9日(2日目) @徳島県上神山町

■大埜地の集合住宅

建築設計：神山町のあす環境デザイン共同企業体

構造設計：桜設計集団構造設計室

敷地面積：8,818.5 m²

建築面積：1,368.01 m²

延床面積：

住戸棟 1,712.7 m² コモンハウス 178.45 m²

エネルギー棟 178.45 m²

規模：地上2階

竣工：2021年3月



大埜地の集合住宅に向かう前に、農村環境改善センターにて一般社団法人神山つなぐ公社の馬場達郎さんから神谷町の取り組みをレクチャーしていただいた。神山町は、人口減少が続いており、2014年には消滅可能性都市として上位にも挙げられるなど、過疎化の深刻な地域であった。馬場さんからは、そうした状況にある町への危機感から始まった先進的な取り組みを多く紹介していただいた。



そうした取り組みの1つとして整備された大埜地の集合住宅は、鮎喰川の湾曲する位置に立地しており、高台から敷地を見ると川や山林と呼応したランドスケープが広がっていた。この集合住宅のマスタープランは、歩車分離がなされたものとなっており、住棟間の豊かなランドスケープの中で、子供たちが安全に遊べるようなデザインがなれている。実際に私たちが敷地内を歩いてみても、身体スケールの景観に居心地の良さを覚えた。

敷地内に建つ鮎喰川コモンは、子供たちが放課後などに読書や学習・遊びの環境を提供し、交流を促す施設である。私たちが訪れたのは、平日の午前であったが、子供たち室内で元気に遊んでおり、人口の少ない町においても、こうした子供の姿が見れたのは、新鮮であり、感慨深いものがあった。

敷地西側には、住棟に給湯や暖房用の温水を供給するためのエネルギー棟が立地していた。燃料として使用される木製チップは、放置の状態にあった山林の木を伐採し、町内の工場で生産されている。このエネルギー棟は居住者だけでなく、山林の環境改善や林産業の振興にも寄与しており、建物の小ささとは対照的な町全体への貢献度に驚きを感じた。

■神山まると高専（大埜地校舎）

建築設計：shushi architects

構造設計：山田憲明構造設計事務所

敷地面積：8,252 m²

建築面積：2,199.34 m²

延床面積：1,955.61 m²

規模：木造 地上1階

竣工：2023.2

神山まると高専は、「テクノロジー」「デザイン」「起業家精神」の3つを軸とした学びを学生へ提供し、社会に出るための実践的な教育を施す私立学校であり、2023年4月に開校した。建物は「OFFICE」と呼ばれる校舎と、「HOME」と呼ばれる学生寮の2つで構成されている。

「HOME」は、旧中学校をリノベーションしたものであるが、その外観とは対照的に内部は、既存のRC躯体の面影を残しながらも、床や家具等には神山町産材が用いられ、対比的な設えが印象的だった。教職員室と廊下の間の壁がガラス張りとなっており、学生は移動中に教員の様子を見ることができる。学生にとって一番身近な社会人である教員との心理的な距離感を近づけ、社会との接点を増やそうとしているようだ。寮室は4部屋ごとにユニット化されており、4部屋の中央には、学生同士お話ができるようなテーブルが配置されており、コミュニティが醸成されるような仕掛けも見てとれた。

「OFFICE」の建物架構はレシプロカル構造が採用されているために、梁間スパンの大きい教室空間や柱のない大講義室の実現が可能になっており、その空間の気持ちよさが、印象深かった。外壁部分が一面ガラス張りになっているのは、コストの問題が大きかったからのようなが、ガラスであることが逆に内部空間の開放性を際立たせているように思えた。普段は、ハード面の整備を仕事にしている私たち設計者にとって、神山町のソフト面での先進的な取り組みは、私たちが建築を建てて終わりではなく、その後の運営やビジネスモデルも良質な環境を醸成しようとする上では重要であり、そこまで責任を持つ必要性を感じさせる貴重な経験となったと思う。



(研修報告2)

(株) はりゅうウッドスタジオ 林 奈々緒

@徳島県上勝町

■RISE & WIN Brewing Co. BBQ & General Store

建築設計：中村拓志/NAP 建築設計事務所

構造設計：山田憲明構造設計事務所

敷地面積：760 m²

建築面積：141.03 m²

延床面積：141.03 m²

規 模：木造 地上1階

竣 工：2015.5

徳島県上勝町に建てられた平屋建てのブルワリー兼店舗である。この建物は上勝町の「ゴミゼロ運動」の中に設計されている。前面道路に長手側を構え、県道を登ってくると短手の縦に長い大きな開口部が見えてくる。外観には廃材となった建具を使い、迫力のあるファサードとなっている。この開口部は外側の建具と内側の建具の間に水平耐力を確保するポリカーボネイトの耐力壁が挟まっているのだが、外観からも内観からもわからない仕上がりになっている。

大空間を支えるための袖付き耐力柱も外壁に取り付けており、内観には存在を感じ取らせない工夫と、薪や道具が置かれおり、うまく活用されていた。



■上勝町ゼロ・ウェストセンター

建築設計：中村拓志/NAP 建築設計事務所

構造設計：山田憲明構造設計事務所

敷地面積：5,557.50 m²

建築面積：1,398.18 m²

延床面積：1,176.40 m²

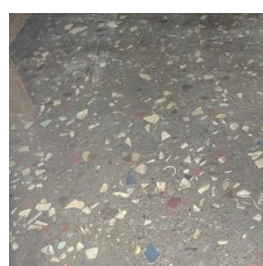
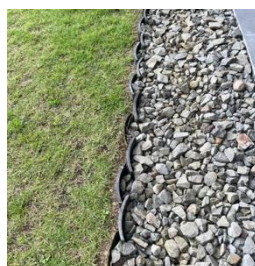
竣工：2020.3

同町内に建てられたごみの分別処理場を中心とした複合施設である。上勝町にはゴミの不法投棄や野焼きが行われ火災や環境汚染が進んでいた歴史がある。そこで上勝町は2003年に日本で初めてゼロ・ウェスト（ゴミゼロ）を宣言し、現在は分別数を13種類45分類に分け、リサイクル率が80%に達している。この建物はRISE & WIN Brewing Co. BBQ & General Storeと同様に「ゴミゼロ運動」の精神が設計の至る所に見て取れる。

建築自体も分解してリサイクルできるように柱梁の構造はボルトと金物で固定しており、解体も容易である。また丸太の太鼓材を半割材で挟み込む構造形式は、廃材となる部分をなくすことや柱脚に位置を変えるだけで特別な金物や仕口を使わずとも、ゴミ収集車やコンテナのための大きな軒下空間を作ることができる。外観の象徴的な建具も内側には細いウレタンで建具と建具の間を埋めており、シーリング剤は外部の防水部分でのみ使用している。

材料に廃材を利用した部材が多く、雨水を受ける砂利と芝生の間の土止めには瓦を再利用し、室内の土間部分には陶器や食器などを混ぜ込んでいる。

建築全体でも材料に廃材を使うこと、廃材をなるべく出さないこと、解体した後のリサイクルを考えられており、用途と設計が一体となっている上勝町による上勝町のための建築のように思えた。



9月10日（3日目）@高知県佐川町

■まきのさんの道の駅佐川

設 計：若竹まちづくり研究所・STUDIO YY・
ワークステーション共同体

構造設計：山田憲明構造設計事務所

敷地面積：9,940.28 m²

延床面積：1,853.57 m²

構 造：木造平屋

竣 工：2023.3

日本の植物学の父といわれる牧野富太郎氏が生まれ育った「植物のまち」佐川町の産業振興と広報・PRの拠点として整備された。

牧野富太郎氏の生家がある上町の、歴史的な切妻屋根の街並みを意識した木造カステン構造の屋根が特徴的。

当初設計者である若竹まちづくり研究所の市川氏にお話を伺う予定だったが体調不良によりキャンセルとなってしまったのは残念である。



@高知県香美市香北町

■やなせたかし記念館 詩とメルヘン絵本館

設 計：古谷誠章+NASCA

敷地面積： 835 m²

延床面積： 458.4 m²

竣 工：1998.7

構 造：木造 地上2階、地下1階

アンパンマンミュージアムの少し奥まったところに建てられた別館でやなせ氏が個人で建てられて町に寄贈した建物である。

すこし落ちつきのある山裾に位置し、周囲の山や竹林に溶け込んだ木造の小さな建物であ



る。

建設にあたっては事前に木材を調達し、伐採地で葉枯らし作業を行うなど地場産材にこだわっている。



@高知県高知市

■牧野富太郎記念館

設 計：内藤廣建築設計事務所

構 造：構造設計集団 SDG

敷地面積： 44,596.30 m²

建築面積： 5,683.73 m²

延床面積： 7,362.26 m²

構 造：RC 造 小屋組：S 造+集成材

地上 2 階



高知市の南、五台山の頂上付近に建てられた牧野富太郎を記念した植物園の中の建物である。

壁や柱は鉄筋コンクリートだが、屋根は鉄骨と集成材のハイブリッド構造で、とてもダイナミックな空間となっている。

建物は 2 棟に分かれていて、それぞれを回廊で緩やかにつないでいる。

五台山の景観になじむよう、大屋根でありつつも圧迫感の無いデザインになっている。



(研修報告3)

AUM (株) 大槻 彩夏

9月11日(4日目)@香川県高松市

研修最終日は香川県がメインでした。高松丸亀商店街、香川県庁舎、屋島山上交流拠点施設(やしまーる)を視察してきましたので、その内容を紹介していきたいと思います。

■高松丸亀商店街



月曜日の午前中でも賑わいのある高松丸亀商店街。アーケードの入り口から更に奥に進むとガラスドームに囲まれた広場があります。その広場からは、来た道を含み4つのアーケードが枝分かれしていました。

商店街というとあまり人気のない婦人服屋や年季の入った入りにくいお店などあまり欲しい

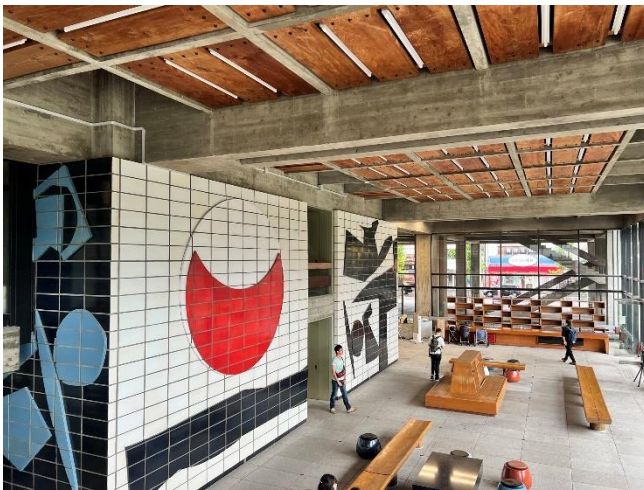
ものが揃っていないようなイメージがあります。そうして、いずれはシャッター街になりまち全体にも元気がなくなってしまうのが現状だと見てきていました。そもそも商店街という街並み自体にあまり良いイメージがありませんでした。都市の商店街は賑わいがあるものの地方のまちでは維持が難しいように感じていました。

高松丸亀商店街は、そのあたりが一味違うらしい。もともとは商店街が位置していた場所に丸亀町再開発事業として始まった計画だそうです。これはただの商店街再開発事業として始まったわけではないという。アーケードとしてひとくくりの商店街ではなく、7つの街区に分類されている。公園や飲食店、生活雑貨店や福祉サービスなどこれまで、まちに不足していたものを段階的に補っていく計画として20年間に及んだのです。確かにアーケードを進につれて、序盤は流行りの服やお菓子などの店が多く並んでいたが、奥に進むにつれ英会話教室や整骨院、クリニックなど、どの生活の場面でもこのアーケードが必要になるような全てが揃っていたことに気が付きました。

ガラスドームはアーケードの中心地に位置しています、そのことにより個々の商店が並ぶのではなく、1つ1つが繋がっていて新しい生活の拠点が誕生しているというように感じました。イベントなども定期的にガラスドームの下の広場で行われているようで丸亀商店街が賑わうポイントの1つになっているようです。特徴的なアーケードも丸亀市民がこの商店街を大切にしたいと思えるきっかけになっているのかもしれない。人の生活に寄り添って設計された建築物たちが、さらに人々を活性化させる要因となっていくように感じました。再開発事業の参考となる視察になりました。

■香川県庁舎

香川県庁舎は、鉄筋コンクリート造なのに木造のように丁寧に組み込まれたファサードが特徴的だと感じました。大きな塊という印象を持ってしまう鉄筋コンクリート造ではなく奥行きや歴史を感じ、庁舎としてふさわしい威厳を感じました。日本の伝統的な意匠を建物だけではなく、家具や障子を意識したような和紙のように光をうっすらと透かす建具など、建物を使う上で必要なものなので建物の一部として統一されていて当然のようなことにも感じながら、ここまで上手くまとまっていることにも感動しました。それぞれの建物や家具、建具がここまで大切にされているのは、この建物を誇りに思う人々が沢山いるからなのではないかと思います。



エントランスを入ってすぐ目に付くのは、ぽつぽつと置いてある焼き物の椅子と壁画です。どちらもとても可愛く愛着が湧きました。ファサードの印象を強調させる壁画はタイルで描かれています。色づかいや形から、さらに日本らしさを感じました。この壁画の内側には階段や部屋もありました。建築の一部として絵が共存していて、まるでこの絵が主役の建物のように感じました。

■八島山上交流拠点施設



屋島山上交流拠点施設(やしまーる)は瀬戸内海が見える高台にあります。通路は曲面や起伏があり、地形に合わせているそうです。

長細い通路の途中には、地形の図面がありました。一見しただけでは分からない、この地形と歴史を調べるからこそ分かる1つのこの土地に建物を建てる回答として、考え込まれていると感じました。屋根は地元の庵治石を使ったスレートとなっており、白とグレーのまだら模様が艶がかったのが特徴的でした。

四国四日間の視察を通して、建物という枠だけではなく、沢山の人の話を聞き、文化を知ることができ、新しいものの見方に気づくことができました。

福島県建築設計協同組合 様

T/C 荒川 090-1063-4111

行き先 福島県・高知県・香川県視察研修



福島県知事登録旅行業第 2-322
株式会社エヌエフ<エフ>
Tel.02-46-63-4111 Fax.02-46-63-4121
担当 者 荒川 清

旅 程 表

月 日	曜日	行 程	宿 泊 場 所
9/8	金	仙台空港→SKY183→神戸空港＝ 萬寿殿(昼食) ＝ 竹中大工道具館 ＝ リブレパーク (神戸港震災メモリアルパーク) 9:45 11:16/11:45 12:10-13:00 13:10-14:40 15:00-16:00 オアシエ「アツキニタス」＝<阪神HW>＝垂水JCT＝<明石海峡大橋>＝淡路SA(明石海峡大橋遠望)＝ 16:40-17:05 ＝<鳴門大橋>＝徳島 IC＝徳島(泊) ○「阿波の彩り ひざし」にて夕食(ホテルより徒歩5分) 19:15- 18:30	<徳島市内> 東横INN徳島駅前 TEL088-657-1045 ○朝食無料 ○シングル禁煙24/喫煙6
9/9	土	ホテル＝ 神山町農村環境改善センター (講和十現地視察)＝ 神山かき屋(昼食) ＝ 神山まるごと高専 (現地視察)＝ 8:00 9:00-11:00 11:15-12:45 13:00-14:30 ＝ RISE & WIN Brewing Co. BBQ & General Store ＝ 上勝町ゼロ・ウェイストセンター ＝ 徳島(泊) 15:30-15:50 16:00-16:30 17:30 ホテル＝ 徳島 IC ＝<徳島HW>＝ 吉野川 SA ＝ 伊野 IC ＝ まきのさん道の駅佐川 ＝ 亀の井ホテル高知(昼食) ＝ 8:00 9:10-9:25 11:00-12:00 12:20-13:10 ＝ 伊野 IC ＝<高知HW>＝ 南国 IC ＝ 牧野富太郎記念館 ＝ 香美市やなせたかし記念館アパレルミュージアム ＝ 13:55-15:15 16:00-17:00 ー高知(泊) ○「土佐料理 司 高知本店」にて夕食(ホテルより徒歩5分) 18:45- 18:00	<高知市内> ウェルカムホテル高知 TEL088-657-1045 ○朝食付 ○シングル禁煙24/喫煙6
9/11	月	ホテル＝ 高知 IC ＝<高知・高松HW>＝ 豊浜 SA ＝ 高松西 IC ー 香川県庁舎 ＝ 高松丸亀商店街 ＝ 7:30 8:40-8:55 9:45-10:35 10:45-11:15 ＝ わら家(昼食) ＝ 高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」 ＝ 志度 IC ＝<高松HW>＝<鳴門大橋>＝ 11:35-12:20 12:30-13:30 ＝ 淡路島南 I/A ＝<明石海峡大橋>＝<阪神HW>＝ 京橋 IC ＝ 神戸空港 →SKY156→ 仙台空港 14:40-15:05 16:20/17:25 18:45	

R 5 木造施設視察研修会参加名簿

開催日時：R5.9.8(金)～11(月)

参加定員：30名

仙台空港発着9/8(9:45) 9/11(18:45)

研修場所：四国及び兵庫県

		事 務 所 名	参加者 1	部屋	参加者 2	部屋	参加者 3	部屋
北 県	1	(株)明石設計事務所	明石茂樹					
	2	(株)内田建築設計事務所	佐藤孝夫				(参加者変更)	
	3	(有)大野建築設計事務所	齋藤 良治					
	4	(株)小島建築設計事務所	内山 勇二					
	5	(有)桂建築設計事務所	高橋 章					
	6	(有)小坂建築設計工房	小坂 和也					
	7	(株)中山建築研究所	中山 武徳					
	8	(有)フォルム建築計画	伊東 一夫					
	9	(株)杜設計	鈴木 宏幸					
	10	(有)山内建築設計工房	坪井 大輔					
中 県	11	エーユーエム構造設計(株)	阿部 光輝		大槻 彩夏		濱尾 博文(委員長)	
	12	(株)共立建築設計事務所	高木 晃司		松本 雄一郎			
南 県	13	(株)水上設計	水上 朗					
	14	(株)斎藤建築設計事務所	斎藤 正明					
	15	(有)タック構造設計	高桑 正晴					
	16	(株)渡辺建築設計事務所	渡辺 道直					
会 津	17	(有)辺見設計	邊見 啓明					
	18	(有)和泉設計	和泉 健太郎					
	19	(株)山口設計	前川 慎吾					
わ き	20	(株)はりゅうウッドスタジオ	荒井 亮		林 奈々緒		滑田 崇志(案内)	
	21	(有)嵐設計事務所	嵐 繁雄					
	22	(株)永山建築設計事務所	福田 雅信		平子 恵俊			
	23	(株)邑建築事務所	矢吹 大					
その他		事務局	星 裕之					

※ 参加者は30名(喫煙6名、禁煙24名)(事務局1名含む)